



令和3年度 甲府市立里垣小学校

令和3年5月18日

発行 第2号

里垣小学校だより
甲府市立里垣小学校
校長 武市 尚

さとがき

【学校教育目標】かしこく、なかよく、たくましい子どもの育成

里垣小学校ホームページ <http://www.satogaki-e.kofu-ymn.ed.jp/>

令和3年度 里垣小学校学校教育目標

かしこく、なかよく、たくましい子どもの育成

- 自ら学び、自分を高めることができる子ども
- 自らを律し、人にやさしく、美しい心をもった子ども
- 健康・安全に気をつけ、元気に生活していける子ども
- がんばっている自分に誇りをもてる子ども



創意ある教育課程の編成と実施に努める

- ①教育活動の改善と充実。
- ②言語活動や理数教育の充実、道徳、外国語教育の推進。
- ③小中連携や保幼小連携。
- ④キャリア教育の充実。
- ⑤家庭・関係機関と連携して特別な支援を要する児童、課題を抱える児童への支援を推進。

「確かな学力」の育成を目指して学習指導を充実させる

- ①基礎的・基本的な内容の確実な定着。
- ②1人1人端末等のICTを効果的に活用する授業づくり。
- ③「甲府スタイル」の授業、「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり。
- ④家庭と連携し、学校や家庭における学習習慣、読書習慣の確立。
- ⑤全教育活動を通して一貫性のある道徳教育の推進。
- ⑥学力調査結果や日常の評価結果の活用。

健康・安全教育の充実と体力向上に努める

- ①自他の健康と命の大切さについて学び、感染症への正しい理解など健康教育の充実。
- ②生活・交通・防災安全についての指導の充実、自己管理能力の育成。
- ③家庭と連携した健康三原則（睡眠・食事・運動）の推進、基本的な生活習慣の確立。
- ④新体力テストの結果を踏まえた教科体育の充実。
- ⑤休み時間や放課後等を利用した運動や遊びの推進。

一人一人を大切に生徒指導と「思い遣る心」を育む教育の充実に努める

- ①いじめや不登校の未然防止とともに、心の居場所となる学校・学級づくり。
- ②職員間の情報交換を密にして、チームとしての生徒指導。
- ③スクールカウンセラー等と連携しながら、児童の実態を考慮したきめ細かな指導。
- ④家庭・地域と連携した情報モラル教育の推進。
- ⑤豊かな心の育成の基礎となる交流活動や福祉活動の充実。

信頼される学校を目指し、家庭・地域との連携を大切にする

- ①授業参観、学校開放日を設定し、開かれた学校づくり。
- ②学校評価に基づく指導体制の工夫・改善とその公表。
- ③ゲストティーチャーや教育ボランティアの活用。
- ④地域と連携した安全管理体制の充実。
- ⑤安全教育（防災訓練・防犯教室等）の推進と安全確保の徹底、個人情報の確実な管理。

新年度のスタートにあたっては、職員一同、気持ちを新たに、子どもたちの健やかな成長のために、愛情を持って、力を尽くしていきます。また、学校、家庭、地域が強く手を携えて教育活動を進めていきたいと考えております。保護者の皆様、地域の皆様には、里垣小教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

コロナ関連についての確認

緊急事態宣言が各都道府県に広がり、県内でも連日、感染者が確認されています。大型連休が終わり、今後の状況も心配ですが、引き続き子供たちの健康管理と感染防止対策をお願いいたします。

先日、安全メールでもお知らせしましたが、今後、本校児童に感染が確認されるような事態に備え、次のことについて再度確認させていただきます。

- 1 児童・同居家族がPCR検査を受けることになった場合の連絡先
 - (1)平日(8:20~16:50) … 学校の固定電話(055-233-2406)
 - (2)それ以外の時間帯 … 学校の携帯電話(安心メールでお知らせした番号)教頭が対応
- 2 児童の感染判明後の学校の対応について
 - (1)児童が在校中に感染が判明した場合、「全校臨時の下校や休校」等の措置を行います。
 - ・午前に判明した場合 … 全校の授業と給食の打ち切り、保護者の引き取り。
児童の昼食についても保護者に対応していただきます。
 - ・午後に判明した場合 … 判明した時点で保護者の引き取り。必ず引き取りをお願いします。
 - (2)安心メールで連絡
 - ・市教委や保健所と連携しながら、必要な情報を適時送信します。安心メールを受信出来るようにしておいてください。
 - (3)感染者の特定につながる情報提供はいたしません。
 - ・県内で発生した学校の様子を聞くと「感染者は何年生ですか？」といった問合せが多く寄せられ、対応に苦慮したそうですが、そのような感染者の特定につながる内容のお問い合わせには、お答えできません。
- 3 最後をお願いします。

誰でも感染者になる可能性があります。もし本校児童の感染が判明し、学校行事が延期や中止となったとしても、冷静な行動と思いやりのある言動が、その後の安全・安心な学校生活につながることを念頭に置いていただき、ご家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。

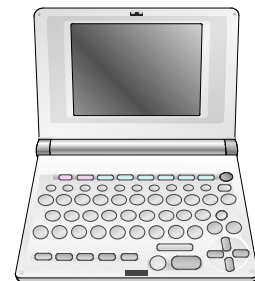
今年度の取組

「性別で分けない名簿の取組」

男女の性別役割分担などについての意識改革を進めるため、全国の学校で「性別で分けない名簿」の取組を行ってきています。すでに山梨県内の小学校では95%以上の学校で実施されています。本校でも今年度から実施することになりました。授業参観の時に昨年度と出席番号が大きく違うと感じた方もいらっしゃると思いますが、名簿は男女にかかわらず50音順になっておりますので、よろしくお願いいたします。

「1人1台端末」

国の施策として「GIGAスクール構想」という、1人1台端末を実現し、ICT教育を推進していくことが掲げられています。本校でも4月にクロームブックという端末が、全校児童分納入されました。10月から本格運用していく予定ですが、授業参観でのリモートや修学旅行・林間学校の調べ学習など試験的な使用を始めています。アルファベットを学習していない低学年では、ログインするためのパスワードを入力するだけでも大変な作業であることもわかりました。今後、「ICTを効果的に活用した授業づくり」を学校の重点目標として、課題を見つけて対応しながら進めていきたいと考えています。



「25人学級」

山梨県で「1年生の25人学級が実現」ということが新聞等でも報道されていますが、里垣小の1年生は25人以上なのになぜ1クラスなのか？と疑問に思っている保護者の皆様もいらっしゃると思います。県の規定により、51人以上が在籍で2クラス以上になる場合に適用されます。本校の1年生(32人、特別支援2人)のように、1クラスで26人以上在籍の場合は、アクティブクラスといって非常勤講師(年間700時間の勤務)が1人配置されます。